TOPICS
トピックス

日本歯科大学ＯＢ馬術倶楽部 創設100周年記念祝賀会

平成26年７月27日（日），品川プリンスホテルにて標記会を執り行いました。

立浪昭夫先生（58回），から川崎正宗先生・小笠原ゆう先生（103回）までの45年間にわたるＯＢと現役部員，また，中原 泉 理事長・学長，生命歯学部長，校友会会長はじめ多数ご来賓いただき，総勢147名の盛会となりました。

馬術部の歴史は私立共立歯科医学校の乗馬会から始まり，1915年にはＯＢ馬術倶楽部が創設。戦後に一度途切れ，故小平真一先生（56回）や立浪昭夫先生（58回）を中心に1964年の東京オリンピックの年に復興。当時，新谷マリ子先生・福井博子先生（60回）が初めて女性として入部を許可されたそうです。295名（うち新潟校36名）のＯＢを輩出し，現在は34名の現役部員を抱える大きなクラブとなり，新谷明喜教授（60回）を部長，今回の実行委員もなさった川崎正仁先生（78回）を監督として自馬を維持しながら活動を続けております。

馬という生き物と向き合うこと，全日本医歯薬学生馬術連盟に所属し他科学生とのつながりが密であること，乗馬クラブはじめ社会とのつながりを持てることなど，馬術部ならではの魅力も大きいですが，維持や活動に費用がかかる，怪我や事故の可能性を秘めている，などの一面も持ち合わせています。そのため，これだけのＯＢ組織のバックアップがあったからこそ，安心して学生時代にクラブ活動をしてこられたのだと，再認識しました。

今回華やかな受付をされた久野彰子先生（82回）・大澤銀子先生（83回）・鈴木淳子先生（84回）のように，勉強もできて，きれいになれる，と約20年前に勧誘されたことが決め手で入部し，現役時代には辛い想い出も多いですが，学生のことを思ってくださる熱意ある先輩方，共に過ごした大切な同期，一生懸命に取り組む後輩たちとに出会えたことが，何よりも馬術部に入部した財産と改めて感じ，学生時代にタイムスリップしたような幸せな時間を過ごせた祝賀会となりました。

最後に，南 英世先生（63回），野上 勇 先生（64回），江黒 徹 先生（83回），永井圭子先生（99回）はじめ100周年実行委員の先生方と現役部員の皆様に，この場をお借りして感謝申し上げます。

（町田麗子・88回記）

日本歯科大学ＯＢ馬術倶楽部創設100周年記念祝賀会　平成26年７月27日　於　品川プリンスホテル